

京都産業大学 創立50周年記念事業 リエゾンオフィス主催 シンポジウム

細胞内の情報から 医療における個人情報へ

⇒開催日 ■ 平成25年6月29日(土) 開場 12:30 開演 13:00 終演(予定) 15:30

⇒会場 ■ 京都産業大学 壬生校地 むすびわざ館
京都市下京区中堂寺命婦町1-10 (京都市下京区壬生松原下がる)

アクセス | 丹波口駅(JR)から徒歩約4分
大宮駅(阪急)から徒歩約7分

参加
無料

定員
300名

人間には約60兆個の細胞があります。これらの細胞は1日で死ぬ細胞から、何十年と生き続ける細胞まで存在します。これらの違いは細胞内にあるタンパク質の不思議な働きによるものです。そして、このタンパク質の構造が壊れることによって発症する病があります。代表的なものが、アルツハイマー病、パーキンソン病や狂牛病(BSE)です。近年の研究でそれらの病気の構造が少しずつ解明されて来ました。同時に、この医学の進展には、個人の遺伝情報や病気の情報などが必要不可欠でした。本シンポジウムでは病気の解明のために必要となるタンパク質の研究と、個人情報の取り扱いについて皆さんと一緒に考えます。

申込について

- 申込方法 / 郵便番号・住所・氏名・電話番号・年齢・参加希望人数・ご質問事項等を記載の上、以下の方法にてお申込みください。(先着順)
【往復はがき】⇒〒603-8555 京都市北区上賀茂本山 京都産業大学リエゾンオフィス 宛
【FAX】⇒ 必要事項記入の上、下記までFAX送信ください。
FAX 075-705-1966
【インターネット】⇒ http://post.kyoto-su.ac.jp/s/symposium_moushikomi/form8520002.php
- 申込締切 / 平成25年6月21日(金) (往復はがき: 当日消印有効。参加証は6月25日頃発送予定。)
※インターネット申込は定員になるまで受付いたします。

プログラム

講演 ▶ 第一部
遺伝子からタンパク質へ
ヒモを形にしてみよう!

総合生命科学部 教授 吉田 賢右



講演 ▶ 第二部
タンパク質の形が壊れると
病気になるってホント?

総合生命科学部 教授 永田 和宏



講演 ▶ 第三部
医療の発展はプライバシーを
侵害するのだろうか?

法務研究科 教授 中山 茂樹



質疑応答 ▶ 講演者3名、司会者1名